

標準的な問診項目と 健やか親子21（第2次） の評価指標の考え方



H24～26年度 厚生労働科学研究費補助金
（成育疾患等次世代育成基盤研究事業）
乳幼児健康診査の実施と評価ならびに
多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究

研究代表者 山崎嘉久
achemec@gmail.com

健やか親子21(第2次) 標準的な問診項目

【問診】

個別の健康状況を把握



- ・現在、あなた(お母さん)は喫煙をしていますか。
現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか。
- ・お母さんはゆったりとした気分でお子さん
と過ごせる時間がありますか。
- ・保護者が、毎日、仕上げ磨きをしていますか。
など



個別の保健指導・支援

※一部の質問文と選択肢を共通とし、
個別指導に加え、地域の状況把握に
標準的に活用する。

【集計・分析】

地域の健康状況を把握 (健やか親子21指標)



地域の評価と対策

【画像引用】<http://xn----ny6a59atp446cn3t.net/>, 北海道立旭川高等看護学院HP

新たに調査方法を変えて把握する指標

データ収集方法	指標番号	指標項目名
<p>(1) 乳幼児健診での標準的な問診項目として設定(15指標)</p>	基盤課題A-3	妊娠・出産について満足している者の割合
	基盤課題A-5	妊娠中の妊婦の喫煙率
	基盤課題A-6	育児期間中の両親の喫煙率
	基盤課題A-7	妊娠中の妊婦の飲酒率
	基盤課題A-11	仕上げ磨きをする親の割合
	基盤課題A-参7	出産後1か月時の母乳育児の割合
	基盤課題A-参10	1歳6か月までに四種混合、麻しん・風しんの予防接種を終了している者の割合
	基盤課題C-1	この地域で子育てをしたいと思う親の割合
	基盤課題C-5	積極的に育児をしている父親の割合
	基盤課題C参4	乳幼児のいる家庭で、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合
	重点課題①-1	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合
	重点課題①-2	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合
	重点課題①-3	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合
重点課題②-2	子どもを虐待していると思われる親の割合	
重点課題②-5	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	
<p>(2) 各地方自治体で中間・最終評価の各前年度には調査(4指標)</p>	基盤課題A-9	小児救急電話相談(#8000)を知っている親の割合
	基盤課題A-10	子どものかかりつけ医(医師・歯科医師など)を持つ親の割合
	基盤課題C-2	妊娠中、仕事を続けることに対して議場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合
	基盤課題C-3	マタニティマークを妊娠中に使用したことのある母親の割合

重点課題①:「育てにくさ」を感じる親に寄り添う支援

全体目標

全ての子どもが健やかに育つ社会



重点課題①
の目標

子どもの多様性を尊重し、それを支える社会

参考指標

- ・小児人口に対する親子の心の問題に対応できる技術を持った小児科医師の割合
- ・小児人口に対する児童精神科医師の割合
- ・情緒障害児短期治療施設の施設数
- ・就学前の障害児に対する通所支援の利用者数
- ・障害児支援を主要な課題とする協議体を設置している市町村数

キーワード

- ・子育て支援者の増加
- ・ピアサポートの推進
- ・子育てリテラシーの向上

健康水準
の指標

- ・ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合
- ・「育てにくさ」を感じたときに対処できる母親の割合

健康行動
の指標

- ・子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合
- ・発達障害を知っている国民の割合

環境整備
の指標

- ・発達障害をはじめとする「育てにくさ」を感じる親への早期支援体制がある市町村の割合
- ・市町村における発達障害をはじめとする「育てにくさ」を感じる親への早期支援の取組を支援している県型保健所の割合

基盤A
学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

基盤C
子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

基盤B
切れ目ない周産期・乳幼児保健体制の充実

重点課題①：育てにくさを感じる親に寄り添う支援-1

指標項目名：育てにくさを感じたときに対処できる親の割合

<問診> [3・4か月児] [1歳6か月児] [3歳児]

設問：

①あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。

→1.いつも感じる 2.時々感じる 3.感じない

②（①で、「1.いつも感じる」もしくは「2.時々感じる」と回答した人に対して、）
育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。

→1.はい 2.いいえ

算出方法：

（設問②で「1.はい」と回答した者の人数）÷

（設問①で「1.いつも感じる」又は「2.時々感じる」と回答した者の人数）×100

※各健診時点について、上記算出方法にて算出し、3時点の平均値を算出する。

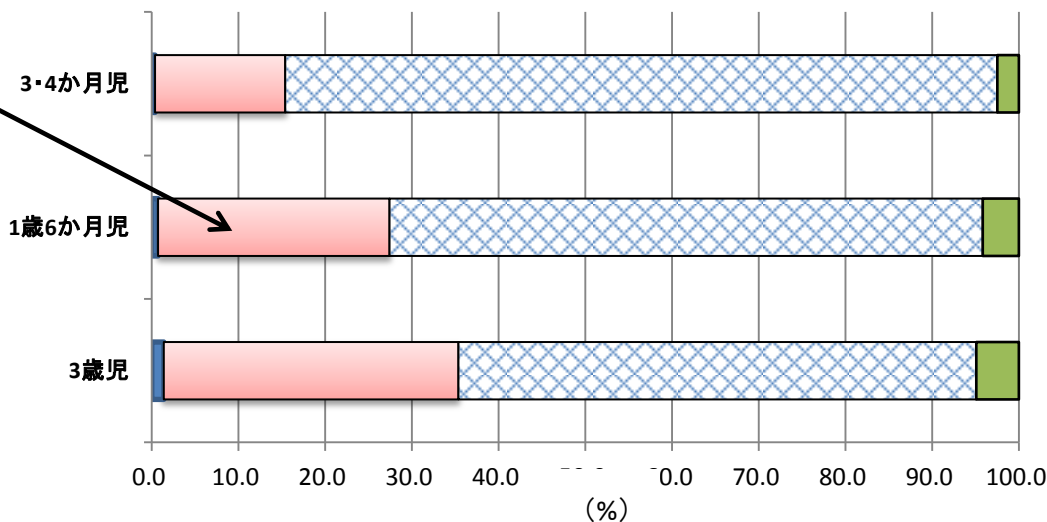
◆育てにくさを感じている親の割合

設問①:あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。

→(1.いつも感じる 2.時々感じる 3.感じない)

■いつも感じる ■時々感じる □感じない ■無効回答

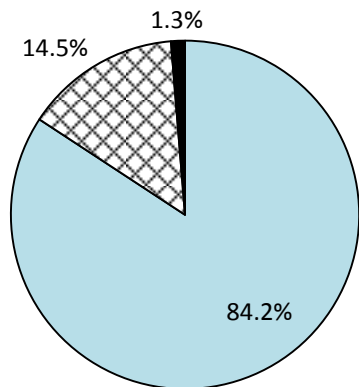
事業評価の
基礎データ



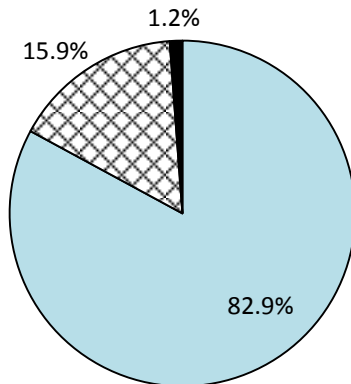
個別支援の
必要性検討

◆育てにくさを感じた時に対処できる親の割合

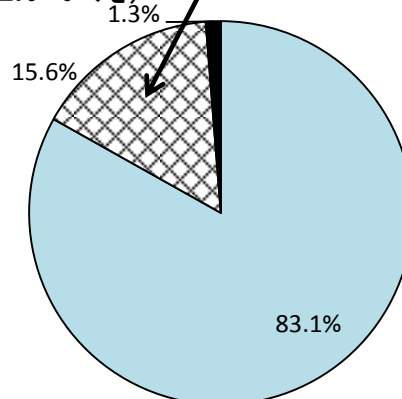
設問②:設問①で、「1.いつも感じる」もしくは「2.時々感じる」と回答した人に対して、)育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。→(1.はい 2.いいえ)



●3・4か月児(N=2,169)



●1歳6か月児(N=5,859)



●3歳児(N=7,386)

乳幼児健診の標準的な保健指導

標準的な保健指導の基本理念

- 1) 親子の顕在的および潜在的健康課題を明確化し、その健康課題の解決に向けて親子が主体的に取り組むことができるように支援する。
- 2) 全国どこの市町村でも、健診従事者が多職種間で情報を共有・連携して保健指導を実施し、すべての親子に必要な支援が行き届くことを保障する。

重点課題②: 妊娠期からの児童虐待防止対策

全体目標

全ての子どもが健やかに育つ社会



重点課題②
の目標

児童虐待のない社会の構築

参考とする指標

- ・児童相談所における児童虐待相談の対応件数
- ・市町村の児童虐待相談対応件数



健康水準の
指標

- ・児童虐待による死亡数
- ・子どもを虐待していると思われる親の割合



健康行動の
指標

- ・乳幼児健康診査の受診率(基盤課題A再掲)
- ・児童虐待防止法で国民に求められた児童虐待の通告義務を知っている国民の割合
- ・乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合

基盤課題C
子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

基盤課題A
切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策



環境整備の
指標

- ・妊娠届出時にアンケートを実施する等して、妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握している市区町村の割合(基盤課題A再掲)
- ・対象家庭全てに対し、乳児家庭全戸訪問事業を実施している市区町村の割合
- ・養育支援が必要と認めた全ての家庭に対し、養育支援訪問事業を実施している市区町村の割合
- ・特定妊婦、要支援家庭、要保護家庭等支援の必要な親に対してグループ活動等による支援(市町村への支援も含む)をしている県型保健所の割合
- ・要保護児童対策地域協議会の実務者会議、若しくはケース検討会議に、産婦人科医療機関の関係職種(産婦人科医又は看護師や助産師)が参画している市区町村の割合
- ・関係団体の協力を得て、児童虐待に関する広報・啓発活動を実施している地方公共団体の割合
- ・児童虐待に対応する体制を整えている医療機関の数

基盤課題B
学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

重点課題②：妊娠期からの児童虐待防止対策-2

指標項目名：子どもを虐待していると思われる親の割合

<問診> [3・4か月児][1歳6か月児]、[3歳児]は選択肢1～5と8

設問：

この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。

1. しつけのし過ぎがあった、
2. 感情的に叩いた
3. 乳幼児だけを家に残して外出した、
4. 長時間食事を与えなかった
5. 感情的な言葉で怒鳴った、
6. 子どもの口をふさいだ
7. 子どもを激しく揺さぶった、
8. いずれも該当しない

○ 算出方法

それぞれの健診において、「いずれも該当しない」以外の選択肢を1つでも回答した人数/全回答者数×100

標準的な問診項目の検討過程について

平成26年度厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
「乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究」
標準的な問診と評価手法等に関するワーキンググループ会議

	氏名	所属
研究代表者	山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター 保健センター
研究分担者	山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座
研究分担者	佐藤 拓代	大阪府立母子保健総合医療センター
研究分担者	草野 恵美子	大阪医科大学看護学部 地域看護学
研究協力者	松浦 賢長	福岡県立大学看護学部 ヘルスプロモーション看護学系
研究協力者	佐々木 溪円	あいち小児保健医療総合センター 保健センター
研究協力者	新美 志帆	あいち小児保健医療総合センター 保健センター

厚生労働省母子保健課担当者も出席

	日程	場所
第1回	平成26年6月8日(日) 13:00 ~ 15:00	東京八重洲ホール 中会議室411
第2回	平成26年6月29日(日) 13:00 ~ 17:00	東京八重洲ホール 小会議室B
第3回	平成26年7月21日(日) 13:00 ~ 17:00	東京八重洲ホール 小会議室B
第4回	平成26年8月30日(土) 13:00 ~ 17:00	東京八重洲ホール 小会議室102

ワーキンググループ(WG)の立場と検討方法

国(「健やか親子21」の最終評価等に関する検討会)において決定される「健やか親子21(第2次)」の指標の評価方法の原案を検討すること。

健康水準の指標・健康行動の指標

乳幼児健診の問診として把握可能な項目の選定、質問文・選択肢の検討
〈根拠とした資料等〉

- ・中間評価に用いた調査項目(乳幼児健診を利用した無記名アンケート)
第1回中間評価(平成17年山縣班調査)、第2回中間評価(平成21年山縣班調査)、
最終評価(平成25年山縣班調査)、平成26年度山縣班調査(7月～8月、新規項目等)
- ・乳幼児健康度調査(日本小児保健協会)の調査項目(平成12年度・平成22年度)
- ・東北3県全市町村の問診票(平成24年度)データ分析結果
- ・山縣班における平成15年度からの問診項目に関する先行研究の成果

環境整備の指標

市町村・県型保健所・都道府県の状況を把握するために用いる指標に関する評価基準の検討

中間評価等における調査項目（健康水準の指標・健康行動の指標）のうち 問診（個別支援）として把握可能な指標を整理（第1回WG結果）

	目的と説明	候補となる指標
I	【個別支援】調査項目であったが、すでに現場での個別支援のため問診に取り入れられている項目。その可能性が高い項目。	仕上げ磨きをする親の割合(A-11)。ゆったりとした気分で(重点①-1)。育てにくさを感じたときに対処できる親(重点①-2)
II	【個別支援】すでに現場での個別支援のため問診に取り入れられているが、集計値を指標の評価に活用可能な項目。その可能性が高い項目。	妊娠・出産について満足している者の割合(A-3)。育児期間中の両親の喫煙率(A-6)積極的に育児をしている父親の割合(C-5)。乳幼児のいる家庭で、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合(C-参4)。子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合(重点①-3)。乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合(重点②-5)。
III	【地域把握】母子保健計画等の評価のため、経年変化を自治体の保健機関が把握すべきであり、かつ個別支援のためにも有用である可能性が高い項目。	この地域で子育てをしたいと思う親の割合(C-1)。
IV	【地域把握】「健やか親子21」計画の評価のため把握が必要であるが、個別支援には適さない項目。	妊娠中の妊婦の喫煙率(A-5)。妊娠中の飲酒率(A-7)。#8000を知っている親の割合(A-9)。子どものかかりつけ医(A-10)。出産後1か月時の母乳育児の割合(A-参7)。1歳6か月までに四種混合、麻しん・風しんの予防接種を終了している者の割合(A-参10)。妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合(C-2)。マタニティマークを妊娠中に使用したことのある母親の割合(C-3)。子どもを虐待していると思われる親の割合(重点②-2)

第4回WG 指標名および質問文の提案と協議

子どもを虐待していると思われる親の割合（第3回WGまでの修正案に基づいて協議）

【3・4か月児問診】

この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. しつけのしすぎがあった → しつけのし過ぎがあった
2. 感情的にたたいた → 感情的に叩いた
3. 子どもだけで留守番させた → 乳幼児だけを家に残して外出した
4. 長時間食べ物を与えなかった → 長時間食事を与えなかった
5. 子どもに感情的な言葉でどなった → 感情的な言葉で怒鳴った
6. 子どもの口をふさいだ
7. 子どもを激しく揺さぶった

【1歳6か月児問診】

この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. しつけのしすぎがあった → しつけのし過ぎがあった
2. 感情的にたたいた → 感情的に叩いた
3. 子どもだけで留守番させた → 乳幼児だけを家に残して外出した
4. 長時間食べ物を与えなかった → 長時間食事を与えなかった
5. 子どもに感情的な言葉でどなった → 感情的な言葉で怒鳴った
6. 子どもの口をふさいだ
7. 子どもを激しく揺さぶった

【3歳児問診】

この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. しつけのしすぎがあった → しつけのし過ぎがあった
2. 感情的にたたいた → 感情的に叩いた
3. 子どもだけで留守番させた → 乳幼児だけを家に残して外出した
4. 長時間食べ物を与えなかった → 長時間食事を与えなかった
5. 子どもに感情的な言葉でどなった → 感情的な言葉で怒鳴った

後日、協議のうえ「8.（6.）いずれにも該当しない」が追加された。

子どもを虐待していると思う親の割合

平成12年度 幼児健康度 調査	第1回中間 評価 (平成17年)	第2回中間 評価 (平成21年)	平成22年度 幼児健康度 調査	最終評価 (平成25年)	(第2次) ベースライ ン調査 (平成26年)
18.1%	3～4か月 児: 4.4%	3～4か月 児: 3.7%	10.7%	3～4か月 児: 4.2%	3～4か月 児: 0.8%
	1歳6か月 児: 11.6%	1歳6か月 児: 9.5%		1歳6か月 児: 8.5%	1歳6か月 児: 2.2%
	3歳児: 17.8%	3歳児: 14.1%		3歳児: 14.2%	3歳児: 4.4%

質問文・選択肢と指標の集計

	幼児健康度調査	第1・2回中間評価・最終評価	(第2次)ベースライン調査	母子保健課調査
(質問1) 子どもを虐待しているのではないかと 思うことがありますか？	(主語なし)	お母さんは ……	あなた、または、 あなたのパートナーは…	—
(質問1) 選択肢	1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない	1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない	1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない	—
(質問2) 不適切な行為に関する選択肢	(質問1)で「1. はい」と回答した場合に選択	(質問1)で「1. はい」と回答した場合に選択	(質問1)で「1. はい」と回答した場合に選択	回答者全員が選択*
指標の集計	(質問1)で「1. はい」と回答した割合	(質問1)で「1. はい」と回答した割合	(質問1)で「1. はい」と回答した割合	「いずれも該当しない」以外の 選択肢を1つでも回答した割合

* 選択肢を回答する対象は、幼児健康度調査や中間評価等とは異なる。

＜参考＞健やか親子21の評価に用いた調査

乳幼児健診受診者に対する無記名アンケート(市町村抽出調査)

＜第1回中間評価(平成17年山縣班調査)、第2回中間評価(平成21年山縣班調査)、最終評価(平成25年山縣班調査)＞[3・4か月児][1歳6か月児][3歳児]

問 お母さんは、子どもを虐待しているのではないかと思いますか

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

(すべての健診時点で「1. はい」を選択した場合の追加質問)

問 それはどのようなことですか。(いくつ〇をつけてもかまいません)

1. たたくなど 2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置 3. しつけのし過ぎ
4. 感情的な言葉 5. その他 ()

＜平成26年度 山縣班調査＞ 調査期間:平成26年7月～8月

[3・4か月児][1歳6か月児][3歳児]

問 あなた、または、あなたのパートナーは、子どもを虐待しているのではないかと思いますか

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

→「1. はい」を選択した場合の追加質問 ([1歳6か月児][3歳児]では、1～4と6)

問 それはどのようなことですか。(該当するものを全て選択して下さい)

1. 感情に任せてたたくなど 2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置
3. しつけのし過ぎ 4. 感情的な言葉 5. 激しく揺さぶる、6. その他 ()

<参考> 健やか親子21の評価に用いた調査

乳幼児身体発育調査の会場で、保護者に調査票を配布し、待ち時間などを利用して記入。「1歳以上、6歳以下」の幼児を対象。

<平成12年度 幼児健康度調査>

Q8. 子どもを虐待しているのではないかと感じることがありますか。

1 はい 2 いいえ 3 何ともいえない

「はい」に○をつけた方におたずねします。

Q8-1. それはどのようなことですか。

1 叩くなど 2 食事を長時間与えないなどの制限や放置
3 しつけのし過ぎ 4 感情的な言葉 5 その他()

<平成22年度 幼児健康度調査>

Q7. 子どもを虐待しているのではないかと感じることがありますか。

1 はい 2 いいえ 3 何ともいえない

「はい」に○をつけた方におたずねします。

Q7-1. それはどのようなことですか。(複数選択)

1 たたくなど 2 食事を長時間与えないなどの制限や放置
3 しつけのし過ぎ 4 感情的な言葉 5 その他()